



学校だより



7月号

令和6年6月28日
横浜市立善部小学校
校長 朝川 健太郎

「安心して楽しく勉強ができる世界に」

校長 朝川 健太郎

6月に入っても晴れの日が多く、関東地方は例年に比べて遅い梅雨入りとなりました。6月5～6日の5年生足柄宿泊体験学習、6月25～26日の4年生愛川体験学習ともに晴天に恵まれ、子どもたちは予定通りの行程で活動することができ、充実した宿泊体験学習になったようです。7月9～10日には6年生の日光修学旅行が予定されています。晴天に恵まれ、充実した体験ができることを期待しています。

さて、6月26日(水)に旭公会堂で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 旭区審査会」が行われました。これは、横浜市内の児童生徒の国際意識を高め、国際社会で自分たちのできることを実践しようとする姿勢を育てる「よこはま子ども国際平和プログラム」の一環で、平成8年度より開催されています。善部小学校でも「国際平和のために自分がやりたいこと」をテーマに毎年6年生が取り組んでいます。今年度学校代表としてスピーチを行った児童の原稿の一部を紹介します。



「十分な教育を受けていない子どもは、世界で1億人以上いると言われています。なぜなのでしょう。戦争、貧困、学校がない、先生がいない。中には、女の子に教育は必要ない、という理由で差別され、学校に行けない子もいます。このようなことがあっていいのでしょうか。世界中の子どもたちにはみな平等に安心して楽しく勉強をする権利があります。その権利が奪われるということは、文字を読むことや計算をすることができなくなり、生活に必要な知識や情報を得ることができないということです。将来、仕事に就くことも難しくなり、未来の新たな貧困につながります。もし、世界中の子どもたちが平等に教育が受けられるようになれば、それぞれの生活がもっと豊かになり、国全体の豊かさにもつながっていくのではないのでしょうか。

今この瞬間も教育を受けられずに苦しんでいる子どもたちがたくさんいます。このような子どもたちのために自分にできることは何なのか何度も何度も考えました。私ひとりの力ではこの状況を変えることはできません。それでも、一人ひとりが考え続けることでやがて大きな力となり、世界を変えることができると私は信じています。みなさんも世界中の子どもたちが学校に行けるようになるために、何ができるか考えてみませんか。」

現在も世界各地で戦争や紛争が起こっています。戦争や紛争で犠牲となるのは子どもたちです。教育の機会が奪われるだけでなく、時には命の危険にもさらされます。日本に暮らす私たちが世界の平和について考え、子どもたちが安心して楽しく勉強ができる世界を実現するために何ができるのか、考えるきっかけになるといいですね。